

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国際会議に必要な経費	担当部局	大臣官房	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度	担当課室	国際課	藤井 康弘			
会計区分	一般会計	施策名	—				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働省組織令第25条 厚生労働省組織規則第5条	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療・保健、雇用・社会福祉等、厚生労働行政の国際分野への展開を図るため、①国際機関を通じた活動、②対外経済交渉、③ASEANを中心とした開発途上国への協力とアジア諸国等との政策対話、④欧米先進国との協議、対話、⑤海外情報収集等を通じて、国際社会への貢献に寄与することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	① 新型インフルエンザをはじめとする感染症対策や医薬品・食品、健康増進対策等の国際的取組、国際労働基準の設定・監視や世界的な雇用危機への対応等、国際機関の活動への積極的な参加、② 経済活動のグローバル化に伴う二国間等の交渉が活発化する中、医療、サービス分野での的確な対応、③ ASEAN等への技術協力やアジア諸国等との閣僚級会合の開催、④ G8、G20の関係閣僚級会合、労働・社会保障分野での交流事業、⑤ 海外情報の収集、日本の政策情報の発信等の事業を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	67	246	101	89	69
		補正予算					
		繰越し等					
		計	67	246	101	89	69
		執行額	59	238	90		
	執行率(%)	88.1%	96.7%	89.1%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	国際会議開催事業や翻訳・通訳、消耗品等、事業の内容からして、成果実績について数値を示すことは困難である。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国際会議開催事業や翻訳・通訳、消耗品等、事業の内容からして、活動実績について数値を示すことは困難である。	活動実績 (当初見込み)		—	—	—	—
				—	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国際事務処理費	11	11				
	国際会議等経費	72	50				
	海外情報収集等経費	6	8				
	計	89	69				

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	いずれも、WHOやILOなどの国際機関の活動への参加や、対外経済交渉、欧米先進国などの政策交流など、日本政府を代表しての対応が求められているものであり、国民のニーズも高いものである。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ・使途・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	個々の契約は、翻訳などいずれも真に必要なものに限定している。また、ほとんどが少額の契約であるが、一部の少額ではない随意契約であっても企画競争による契約を行い競争性の確保を図っている。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	契約の多くは、大規模会議運営や翻訳・通訳など専門性の高いものであり、手段として実効性は高いものといえることができる。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
		※類似事業名とその所管部局・府省名		
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	厚生労働行政の国際分野への展開を図るため、対外経済交渉や欧米先進国との協議、対話を通じて、国際社会への貢献に寄与できているものと思われる。			
予算監視・効率化チームの所見				
一部改善	本経費は、厚生労働行政を推進するための国際連携に必要な経費であり、執行の観点からも概ね妥当であるが、各々の事業の優先度を勘案し、効率化を図ることにより、予算を縮減すること。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）				
縮減	事業の優先順位について検証を行い、順位の低いものについては見直しを図った。			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	0001	平成23年行政事業レビュー	0001	

厚生労働省
101百万円

【委託・企画競争等(外部発注)】

A. 民間団体等(38) 66百万円

〔 厚生労働省組織令第25条に規定されている厚生労働省
大臣官房国際課所掌業務の執行 〕

〔 ※百万円以下については端数処理を行って
いる 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 株式会社コングレ			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	ILOアジア太平洋地域会合開催に伴い必要となった会場設営工事等の費用	15			
人件費	ILOアジア太平洋地域会合開催に伴う通訳等の人件費	9			
借料及び損料	ILOアジア太平洋地域会合開催に伴う会場等の借り上げ費	9			
会議費	ILOアジア太平洋地域会合開催に伴い必要となった飲料水等費用	8			
消費税等		3			
計		44	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社コングレ	第15回ILOアジア太平洋地域会合開催業務	44	随意契約	
2	光洋商事株式会社	翻訳業務	4	随意契約	
3	株式会社ホンヤク社	翻訳業務	2	随意契約	
4	株式会社サイマル・インターナショナル	通訳業務	1	随意契約	
5	日本コンベンションサービス株式会社	通訳業務	1	随意契約	
6	株式会社日本翻訳センター	翻訳業務	1	随意契約	
7	株式会社アイ・アソシエート・ジャパン	翻訳業務	1	随意契約	
8					
9					
10					